

○ 本校の概要

今年度開校60周年の節目の年を迎えた。11月には記念式典・祝賀会、1月には開校記念児童集会とPTA主催のもちつき大会、2月には地域をめぐってお神輿のパレードなど、学校、保護者、地域が連携した60周年関連行事を実施する。また、今年度から新校舎に移転し、令和の時代を迎えるにあたり、「新時代のスタート」をスローガンに教育活動を行う。昨年度に引き続き児童の自己肯定感を高めることを学校経営の根幹に位置付け、友達や先生など他者と互いのよさを認め合う活動を充実させることにより、自らの成長を実感できるようにする。さらに学力向上を重点課題とし、授業改善推進プランを活用した授業改善をPDCAサイクル化する。校内研究では「主体的に考え、話し合いを通して深く学ぶ授業を目指す指導方法の工夫」という研究主題をもとに、道徳科における「授業展開の工夫」「発問の工夫」「主体的に学ぶ学習活動の工夫」の三本柱で実施する。通常学級と特別支援教室及び通級指導学級の教員が互いの授業を見合うことにより、それぞれの専門性を学ぶとともに、多面的、多角的な視点による児童理解につなげる。また、大田区初の小中施設一体型校舎という特性を生かし、小中連携教育を推進する。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 6 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 目標に対する成果指標, 成果評価, コメント. Rows include: ブラン1 未来社会を創造的に生きる子供の育成, ブラン2 学力の向上, ブラン3 豊かな心の育成, ブラン4 体力の向上と健康の増進, ブラン5 魅力ある教育環境づくり, ブラン6 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指す。

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である B：自己評価はおおむね適切である C：自己評価は適切ではない D：評価は不可